

2018年3月期

第2四半期決算説明会

ウシオ電機株式会社

2017年10月30日

<免責事項>本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

The logo for Ushio Group, consisting of the word "USHIO" in a bold, white, sans-serif font, set against a solid green rectangular background.

- 2018年3月期第2四半期は**増収増益決算**
- 「営業利益」及び「経常利益」は上期公表値を**上回り着地**
- 通期の業績予想は**据え置き**

- I. 第2四半期業績概況
- II. 今後の見通し
- III. 参考資料

今回の決算発表のポイント

連結売上高は前年同期比3.3%増の852億円
連結営業利益は前年同期比79.7%増の56億円となり**増収増益決算**

- 5月11日公表の上期公表値を上回り着地 -

売上高 : **852億円** (前年比+26億円、3.3%増)

- 半導体・FPD関連市場は好調に推移し、UVランプ及び光学装置が増収

営業利益 : **56億円** (前年比+25億円、79.7%増)

- 光学装置の収益性改善および前期実施の早期希望退職により増益

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : **82億円** (前年比+64億円、348.0%増)

- 為替差損の減少および厚生年金基金代行返上益 (1Q_60億円) の計上により増益

※為替レート (2017年度第2四半期) : 1ドル=111円

2017年度 1H 売上高・損益

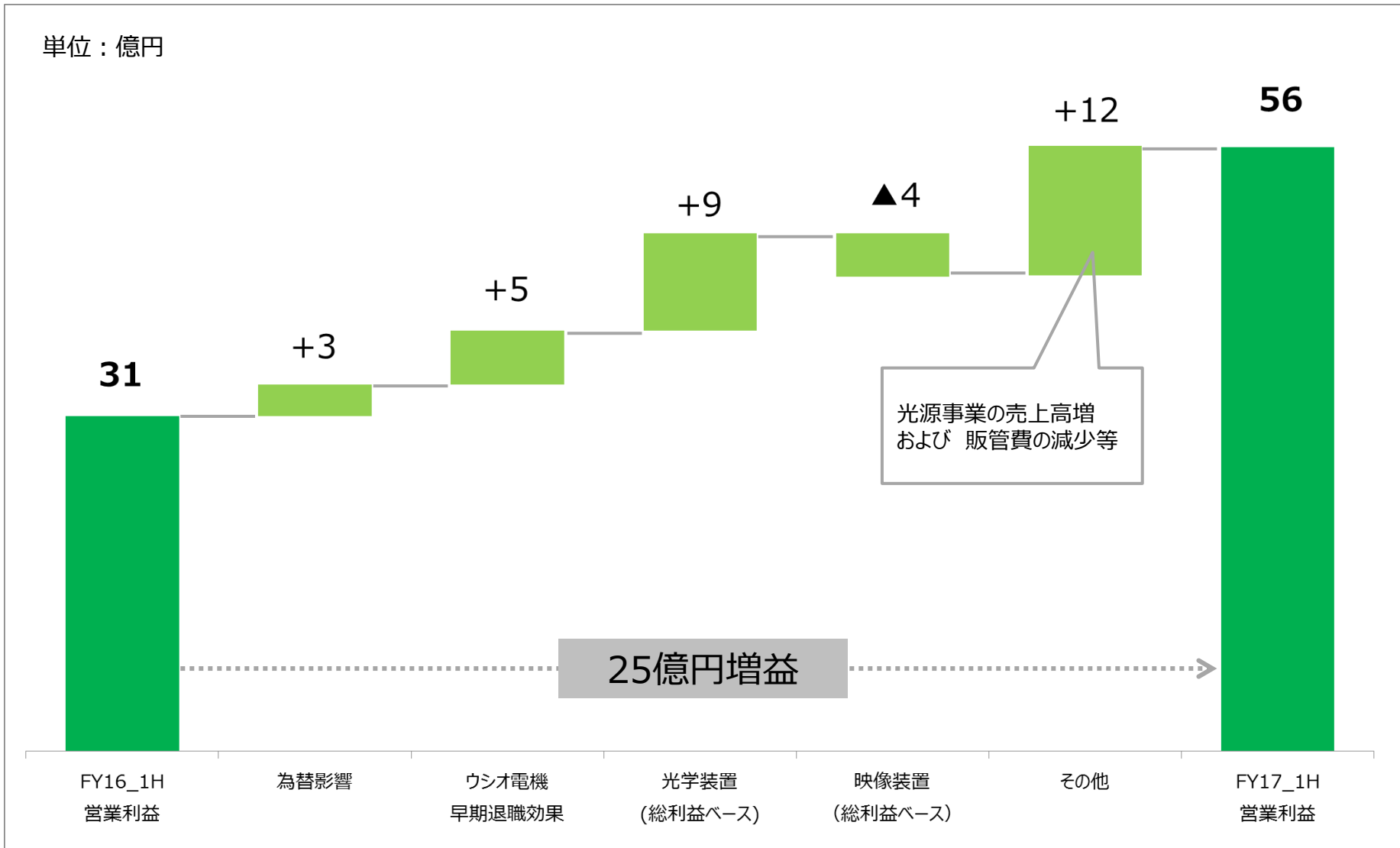
単位：億円	FY16 1H	FY17 1H	前年同期比		上期 公表値 (5.11公表)	達成率 (%)	
			増減	%			
売上高	825	852	+26	+3.3	870	97.9	
営業利益	31	56	+25	+79.7	45	125.4	
営業利益率(%)	3.8	6.6	+2.8P	-	5.2	-	
経常利益	30	70	+39	+128.0	55	127.7	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	18	82	+64	+348.0	85	97.6	
EPS (円)	14.46	64.94	+50.47	+349.0	66.53	-	
為替レート (円)	USD	107	111	+4	-	110	-
	EUR	120	126	+6	-	115	-

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

	売上高	営業利益
対USD	約10億円	約1.5億円

1H 営業利益増減分析（前年同期比）

単位：億円



注：「光学装置（総利益ベース）」～「その他」の要因は、「為替影響」を除いた金額。

注：「光学装置（総利益ベース）」及び「映像装置（総利益ベース）」は、「ウシオ電機早期退職効果」を除いた金額。

「売上高」未達の主な要因 ▲17億円、達成率98%

- 映像関連事業の映像装置およびシネマ用ランプの販売が弱含みで推移
- 一部、光学装置の検収が下期へ期ずれ

「営業利益」達成の主な要因 +11億円、達成率125%

- 光学装置の製品ミックス改善による収益性改善
- 半導体、FPD関連市場が好調に推移し、UVランプの販売が拡大

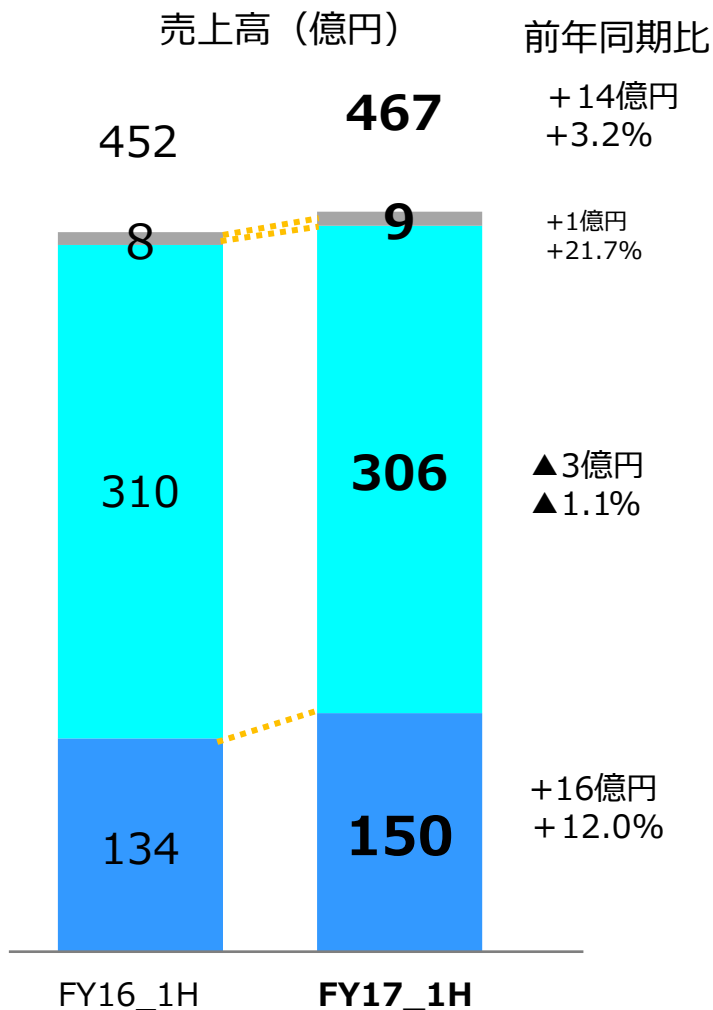
セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

単位：億円		FY16 1H	FY17 1H	前年同期比		通期 計画 (5.11公表)	進捗率 (%)
				増減	%		
装置事業	売上高	452	467	+14	+3.2	1,025	45.6
	営業利益	▲11	0	+11	-	-	-
	営業利益率 (%)	▲2.5	0.0	+2.5P	-	-	-
光源事業	売上高	359	369	+10	+2.9	745	49.6
	営業利益	40	54	+14	+35.5	-	-
	営業利益率 (%)	11.3	14.8	+3.6P	-	-	-
その他	売上高	13	15	+2	+17.5	30	51.0
	営業利益	▲0	0	+0	-	-	-
	営業利益率 (%)	▲0.2	5.6%	+5.9P	-	-	-
全社・消去	営業利益	2	0	▲1	-	-	-

注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

セグメント別 概況 (1)

装置事業



注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

1Hの概況

映像装置

シネマ：▲3%

- DCP販売台数は約1割強減少。

一般映像：+1%

- ソリューション型案件の増加。

光学装置

UV装置：+35%

- 次世代スマホのメイン基板用直描式露光装置が好調に推移。OLED製造ラインで使用されるエキシマ洗浄装置も好調。

キュア装置：▲32%

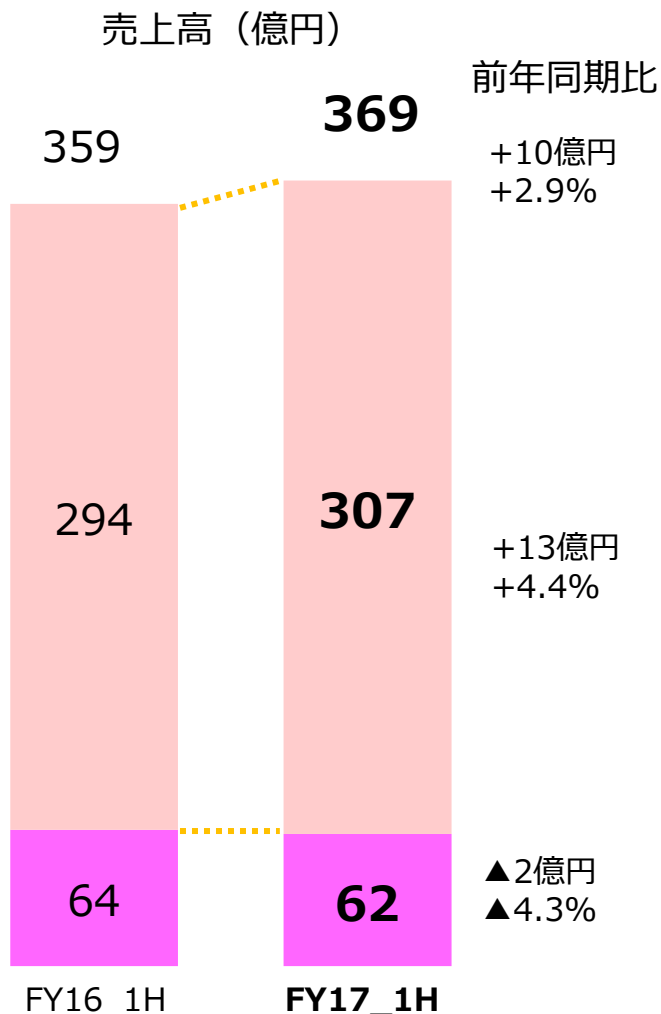
- 投資案件が下期に集中。

照明装置他

- 大型案件減少。

セグメント別 概況（2）

光源事業



注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

1Hの概況

放電ランプ

UVランプ°：+10%

- 半導体、FPD関連の設備投資拡大。
高稼働率の維持。

シネマ用ランプ°：▲5%

- 中国市場で固体光源化が拡大し、ランプ
需要が減少。

データプロジェクター用ランプ°：+17%

- 当社ランプを採用したユーザーの新製品販売
が好調に推移。

ハロゲンランプ

OA用ランプ°：+2%

- 高付加価値な環境対応製品の販売が貢献。

照明用ランプ°：▲27%

- 固体光源化が拡大し、ランプ需要が減少。

-
- I. 第2四半期業績概況
 - II. 今後の見通し
 - III. 参考資料

2017年度 通期業績予想

2018年3月期 通期業績予想 は **据え置き**

単位：億円	1H 実績	通期公表値 (5.11公表)	進捗率 (%)
売上高	852	1,800	47.3
営業利益	56	100	56.4
営業利益率(%)	6.6	5.6	—
経常利益	70	115	61.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	82	110	75.4
為替 (円) : USD	111	110	—
EUR	126	115	—

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

	売上高	営業利益
対USD	約10億円	約1.5億円

2017年度 通期業績予想 サブセグメント別売上高（通期）

前回計画から一部変更

単位：億円

		(A) 前回 計画 (5.11計画)	(B) 今回 予想 (10.30計画)	(B)-(A)	主な変更理由	
売上高	装置事業	映像装置	725	675	▲50	■ 映像装置 ▲50億円 レーザーシネマプロジェクター案件の先送り。 ■ 光学装置 +50億円 次世代スマホのメイン基板用直描式露光装置の需要拡大など投資案件が増加。
		光学装置	275	325	+50	
		照明装置他	25	25	—	
		小計	1,025	1,025	—	
	光源事業	放電ランプ	625	625	—	変更なし UVランプは、引き続き上期同様に好調に推移する一方、シネマ用ランプは中国での固体光源化の影響が拡大。
		ハロゲンランプ	120	120	—	
		小計	745	745	—	
	その他	産業機械他	30	30	—	
	合計		1,800	1,800	—	

2017年度 通期業績予想 サブセグメント別売上高（通期）

単位：億円

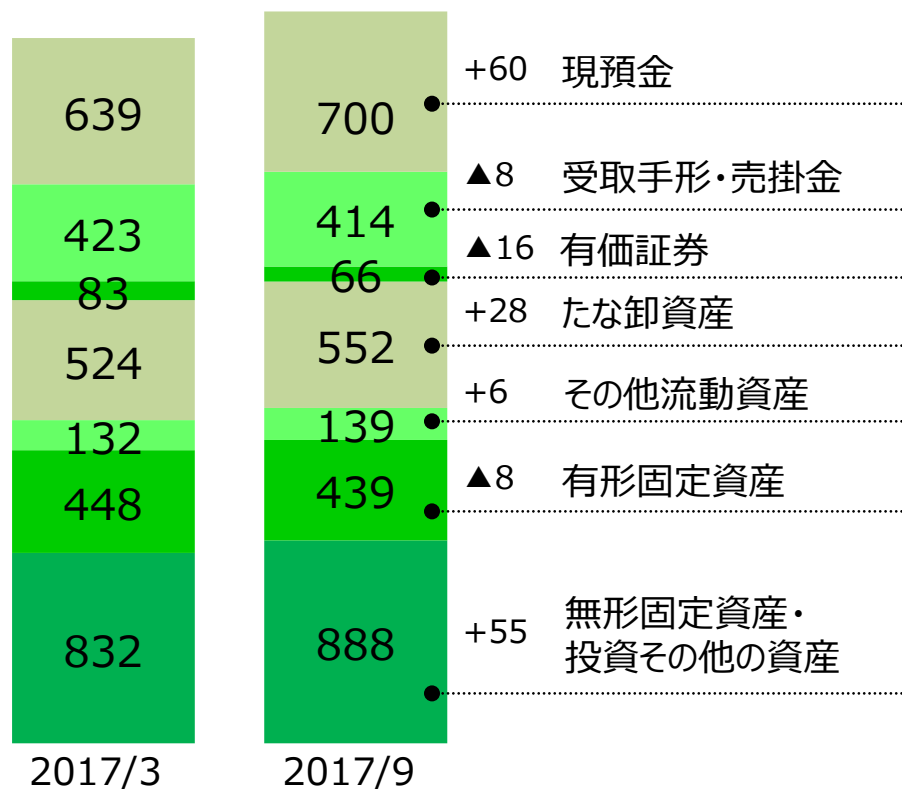
		(A) 通期 計画 (10.30計画)	(B) 1H 実績	(C) 2H 予想 (A)-(B)	(C)-(B)	2H予想	
売上高	装置事業	映像装置	675	306	368	+61	■ 映像装置 DCP販売台数は上期を上回り推移する見込み。 ■ 光学装置 OLED関連向け露光装置の増加。電子部品向け露光装置も堅調に推移。
		光学装置	325	150	174	+23	
		照明装置他	25	9	15	+5	
		小計	1,025	467	557	+89	
	光源事業	放電ランプ	625	307	317	+10	■ 放電ランプ UVランプは、引き続き好調な市場環境を維持。シネマランプは、中国での固体光源化拡大の影響が継続。 ■ ハロゲンランプ OA用ランプは季節性により微減。
		ハロゲンランプ	120	62	57	▲4	
		小計	745	369	375	+5	
	その他	産業機械他	30	15	14	▲0	
	合計		1,800	852	947	+95	

-
- I. 第2四半期業績概況
 - II. 今後の見通し
 - III. 参考資料**

参考 : BS

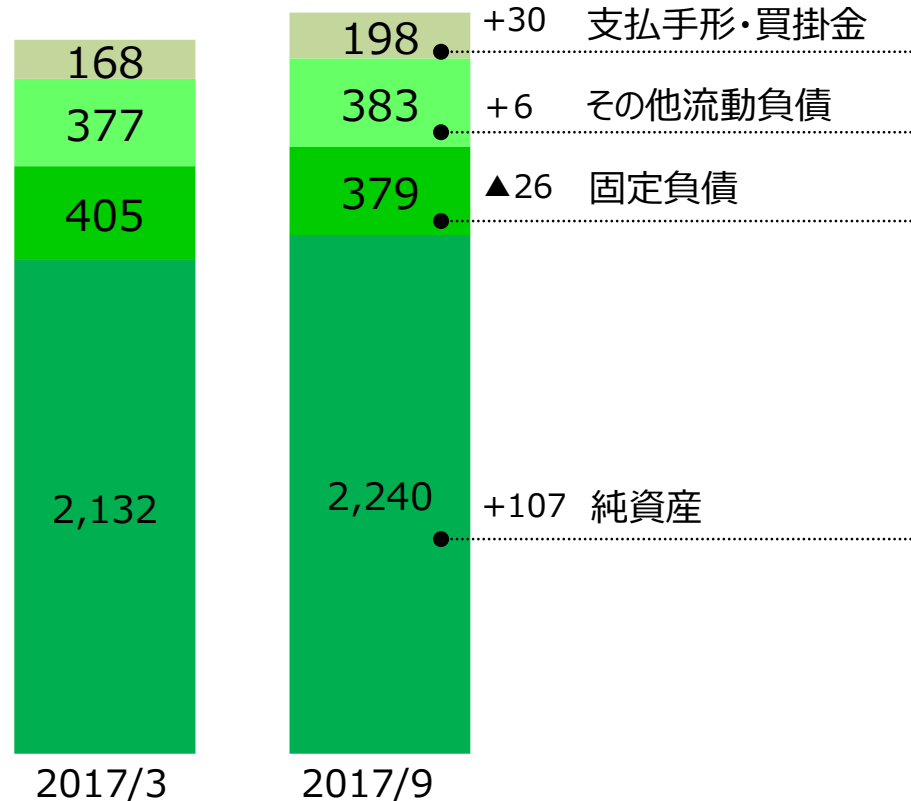
◆ 資産 (億円)

3,084 3,202 増減 +117



◆ 負債・純資産 (億円)

3,084 3,202 増減 +117



● 回転月数 (ヶ月)

売上債権
たな卸資産

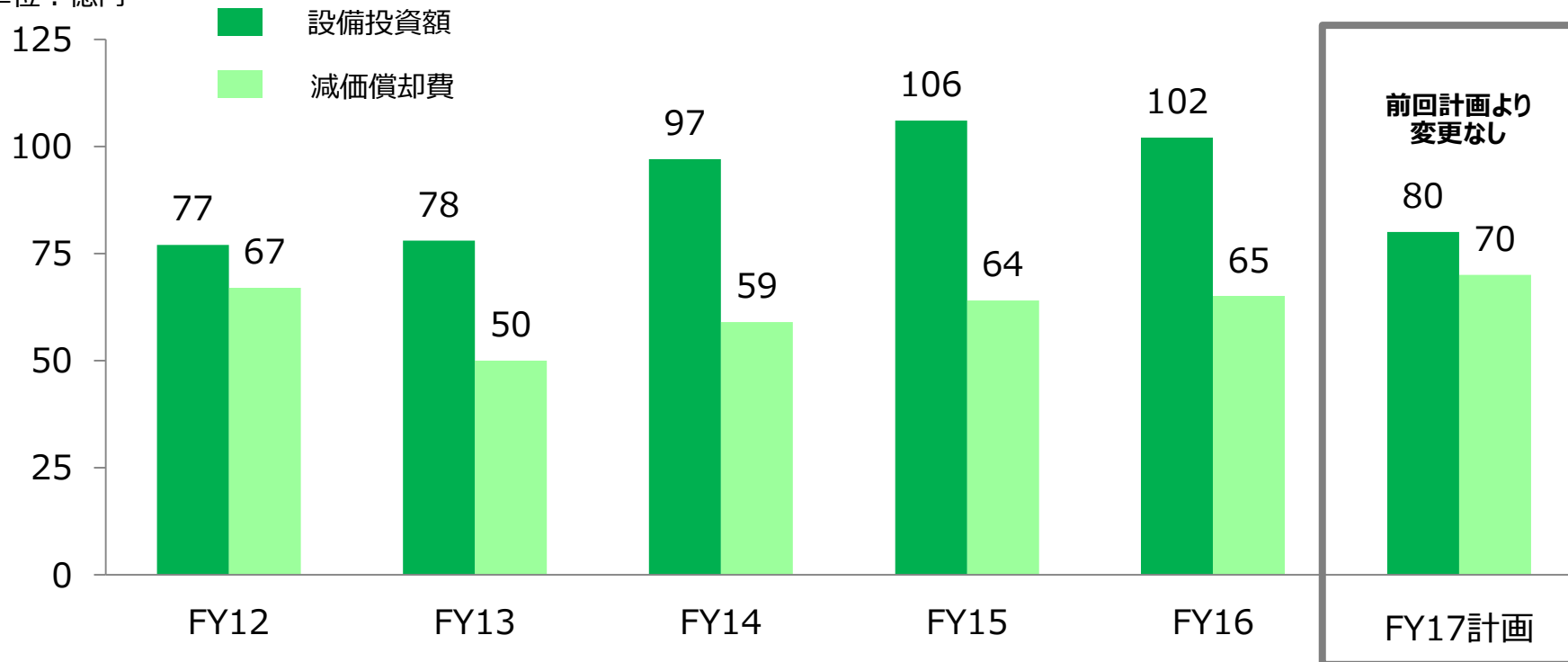
	2017/3	2017/9
売上債権	2.8	2.8
たな卸資産	3.8	3.9

● 自己資本比率 (%)

	2017/3	2017/9
自己資本比率 (%)	68.9	69.8

参考：設備投資額・減価償却費

単位：億円



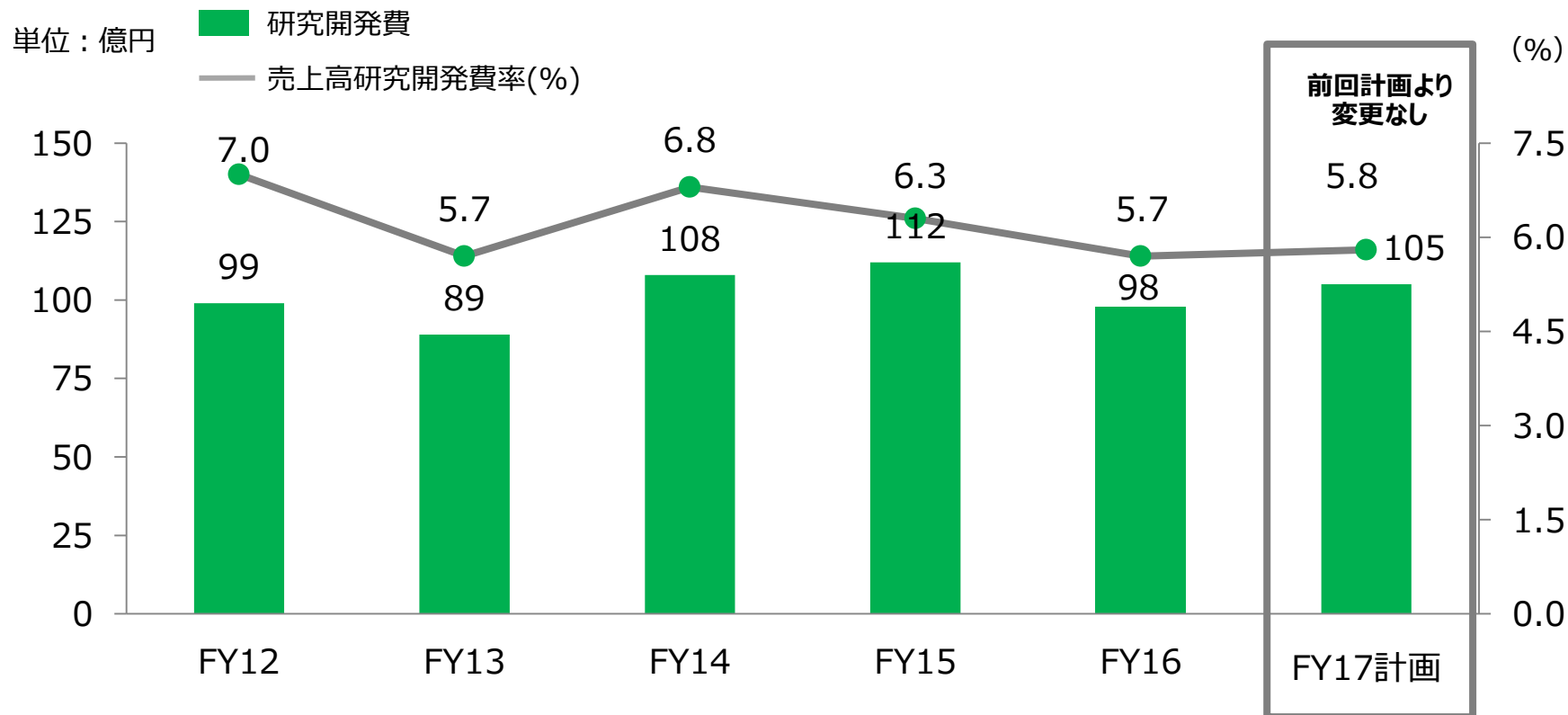
単位：億円

	FY16 1H	FY17 1H	前年同期比	
			増減	%
設備投資額	44	23	▲20	▲47.3
減価償却費	32	33	+0	3.0

注1. 設備投資額は「有形固定資産」+「無形固定資産」。ただし、「のれん」は除く。

注2. 設備投資額に含まれない「のれん」増加額 FY16_1H：－、FY17_1H：2

参考：研究開発費

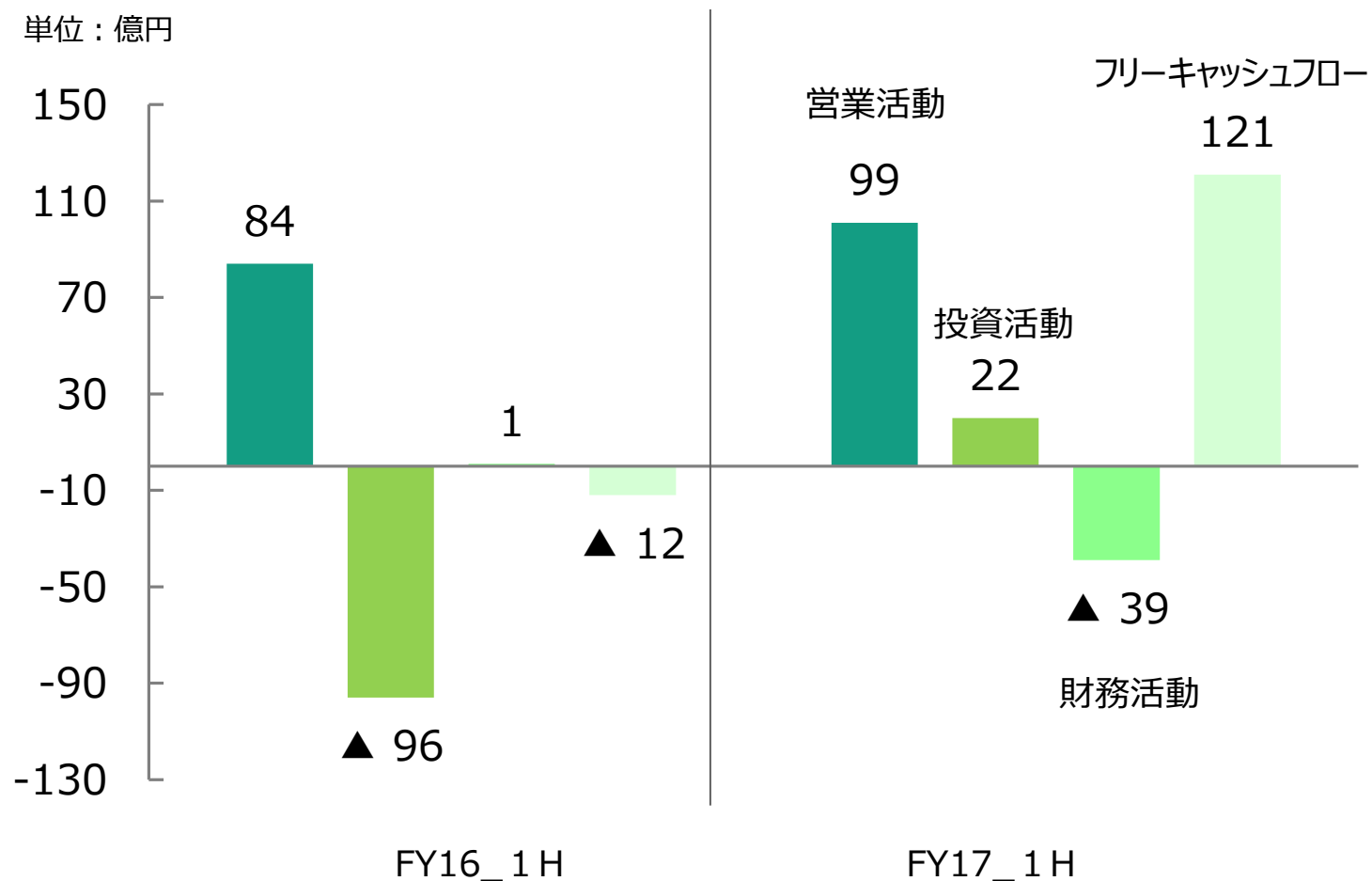


単位：億円

	FY16 1 H	FY17 1 H	前年同期比	
			増減	%
研究開発費	50	50	▲0	▲0.5
売上高研究開発費率 (%)	6.1	5.9	▲0.2P	-

参考：キャッシュフロー

単位：億円



期首現金残高	478
期末現金残高	430

期首現金残高	509
期末現金残高	608

参考：1H営業外収支、特別利益/特別損失

単位：億円	FY16 1H	FY17 1H	前年 同期比
営業外収益	12	18	+5
受取配当金	6	7	+0
その他	6	11	+4
営業外費用	13	4	▲9
為替差損	10	1	▲8
その他	3	2	▲0
営業外収支	▲0	13	+14

単位：億円	FY16 1H	FY17 1H	前年 同期比
特別利益	8	62	+54
固定資産売却益	0	1	+1
投資有価証券 売却益	7	0	▲7
厚生年金基金 代行返上益	-	60	+60
特別損失	7	7	+0
その他	7	7	+0

参考：直前四半期比較

四半期損益比較

単位：億円	FY17	FY17	QoQ	
	1Q	2Q	増減	%
売上高	417	434	+17	+4.2
営業利益	28	28	+0	+0.5
営業利益率 (%)	6.7	6.5	▲0.2P	-
経常利益	39	30	▲8	▲21.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	65	17	▲48	▲73.5
EPS (円)	51.32	13.62	▲37.70	▲73.5
為替レート (円)				
USD	111	111	▲1	
EUR	122	130	+8	

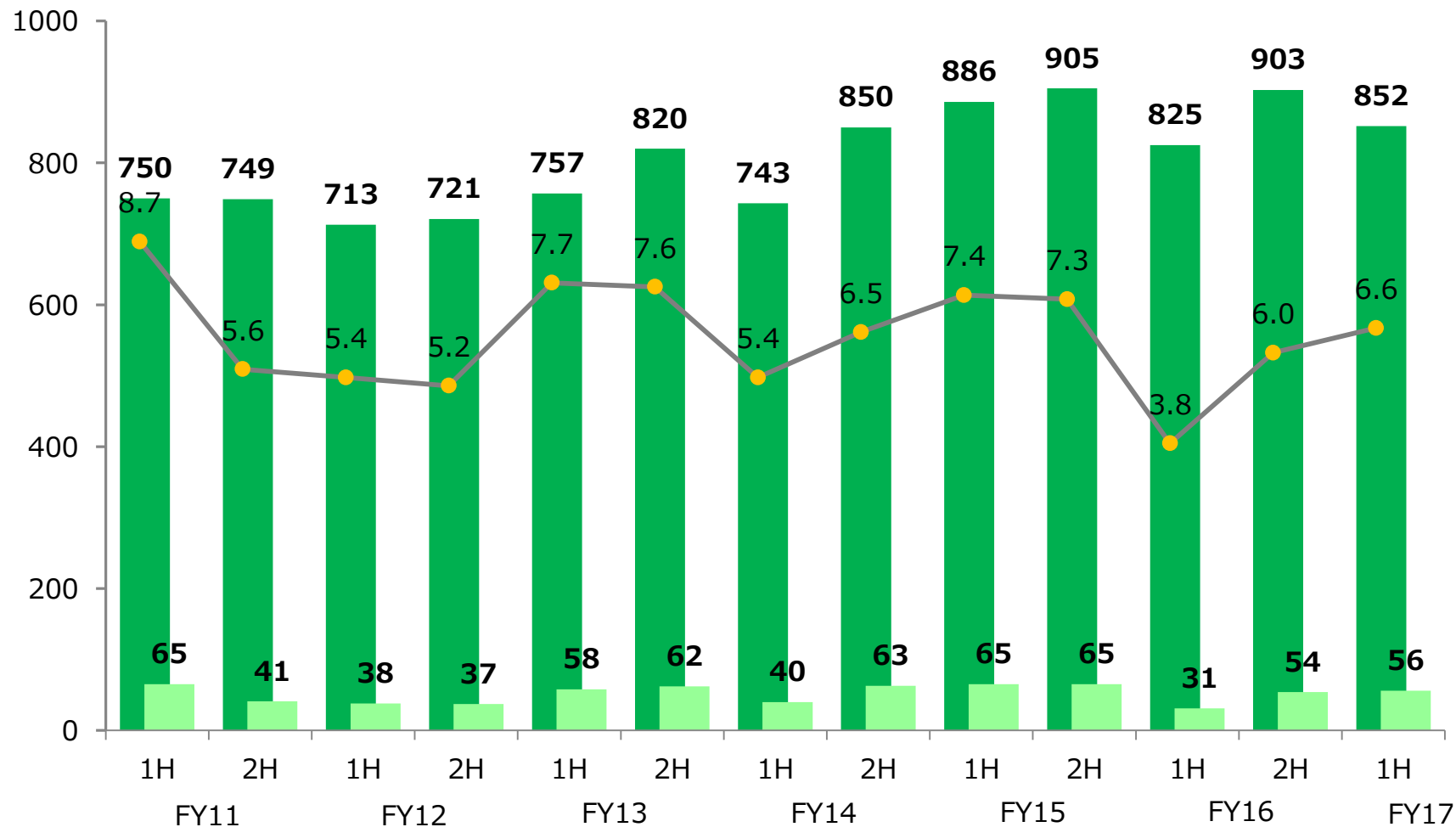
セグメント別比較

単位：億円	FY17	FY17	QoQ	
	1Q	2Q	増減	%
装置事業				
売上高	225	241	+16	+7.1
営業利益	0	▲0	▲0	▲173.8
営業利益率 (%)	0.2	0.0	▲0.2P	-
光源事業				
売上高	182	186	+3	+2.0
営業利益	26	28	+2	+8.1
営業利益率 (%)	14.4	15.3	+0.9P	-
その他				
売上高	8	6	▲1	▲22.6
営業利益	0	0	▲0	▲67.6
営業利益率 (%)	7.6	3.2	▲4.4P	-

参考：半期業績推移

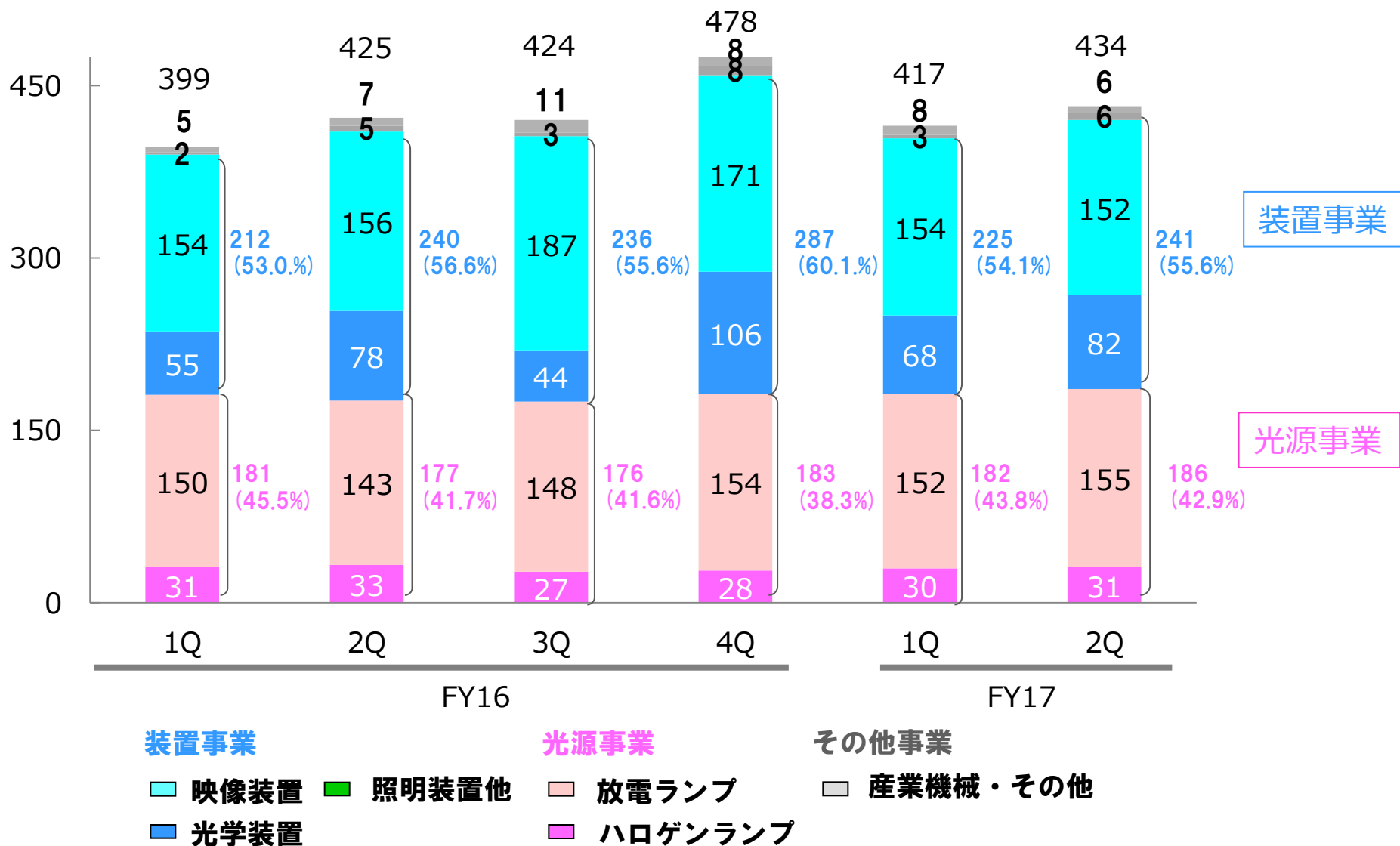
単位：億円

■ 売上高 ■ 営業利益 — 営業利益率(%)



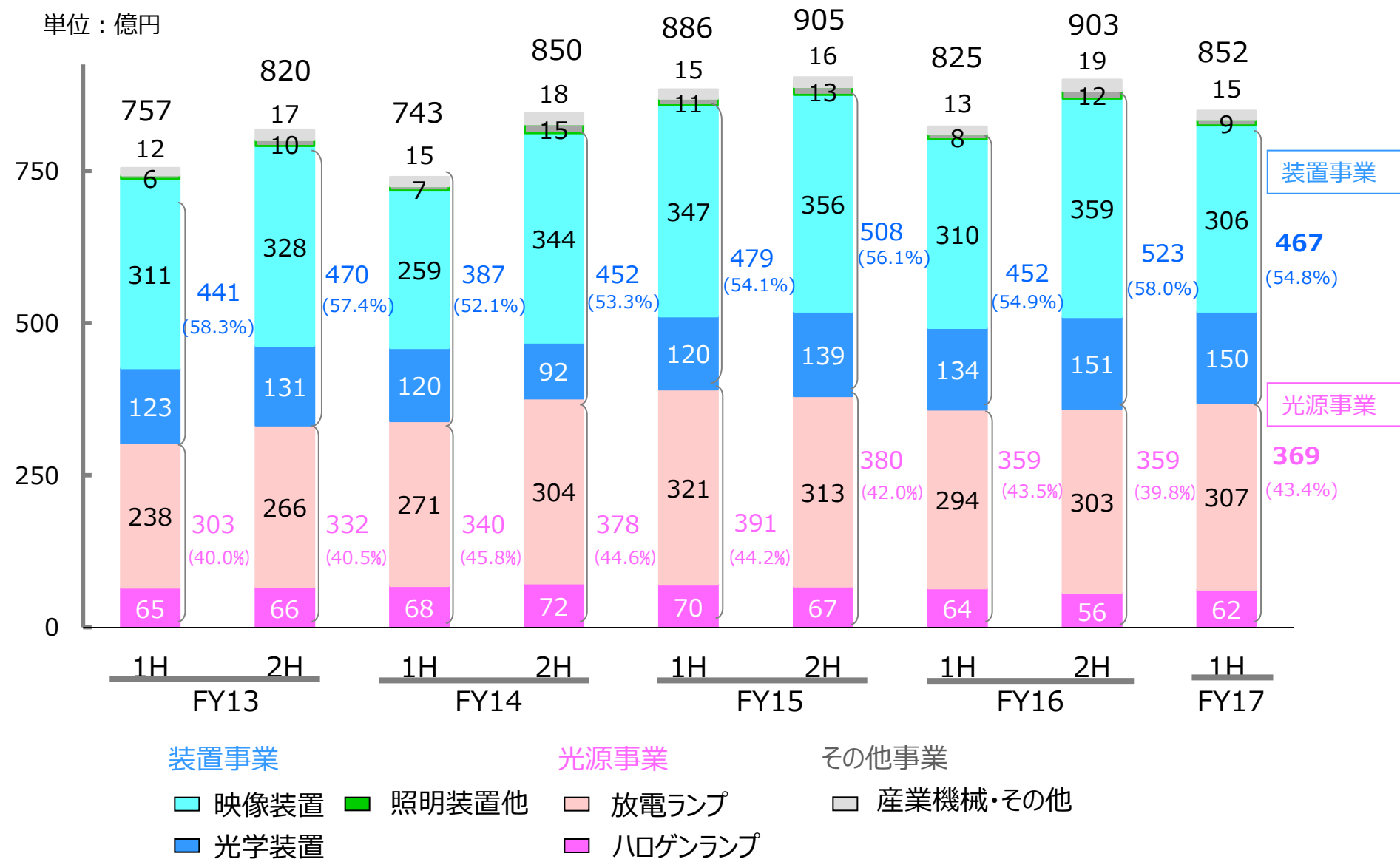
参考：サブセグメント別売上高《四半期推移》

単位：億円

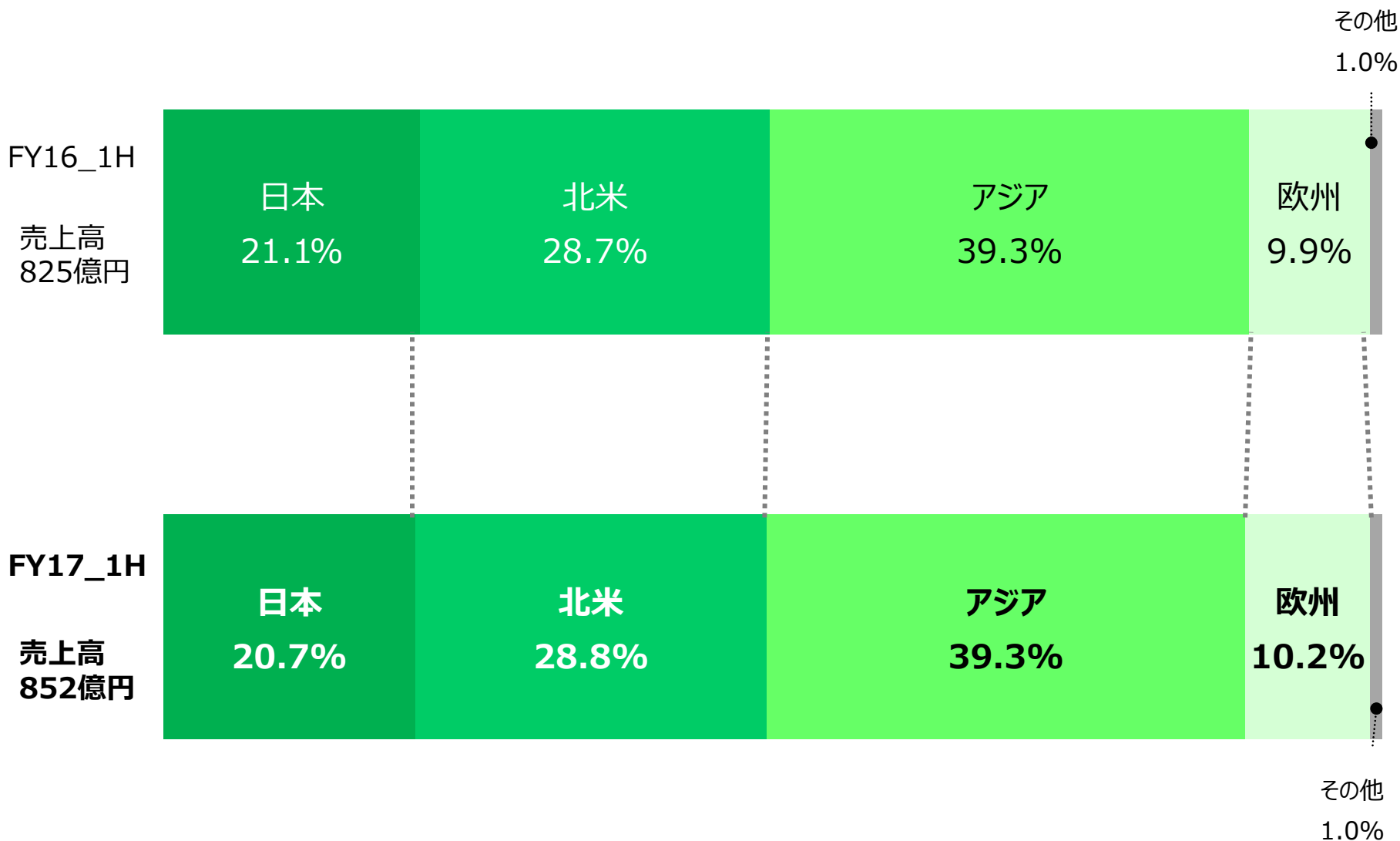


参考：サブセグメント別売上高 《半期推移》

単位：億円



参考：地域別売上高比率



参考：ウシオグループ プロジェクター光源別特徴

	ランププロジェクター		レーザープロジェクター	
光源	超高圧UVランプ	クセノンランプ	蛍光体レーザー	RGBレーザー
				
ルーメン	2,000~5,000 (多灯式~30,000)	8,000~35,000	5,000~30,000	20,000~60,000
用途	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般映像 (オフィス、家庭、教育用データプロジェクター) ■ シネマ (多灯) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ シネマ ■ 一般映像 	<ul style="list-style-type: none"> ■ シネマ (中国など) ■ 一般映像 (ホール、イベントなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ レーザーシネマ (Dolby Cinemaなど) ■ 一般映像 (産業用VR、テーマパークのアトラクションなど)
価格	低	低-中	中	中-高
光源寿命	中*	中-長*	中-長	長
色	△○	○	△	◎

※ランププロジェクターにおいて、一般映像では超高圧UVランプが、シネマではクセノンランプの方が寿命が長い場合があります。

参考：用語集

DCP	Digital Cinema Projector	デジタルシネマプロジェクター
OA	Office Automation	オフィスオートメーション
OLED	Organic Light Emitting Diode	有機 E L
RGB	Red Green Blue	赤 緑 青
UV	Ultraviolet	紫外
VR	Virtual Reality	バーチャルリアリティー
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ

USHIO

本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）経営企画部
(03) 5657-1007
ir@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/jp/>